

道の駅めぐみ白山とトレインパーク白山との一体的賑わい創出活動

団体名●新ゼミナール／代表者名●新 広昭（副学長・教授）

はじめに

本事業は、白山市と本学との包括連携協定に基づいた事業の一環として実施しているものである。

白山市はSDGs 未来都市に認定され、2023年5月には、白山市の全域が白山手取川ジオパークとしてユネスコ世界ジオパークに認定されている。新ゼミでは以前から、白山市の国道8号線沿いに立地する「道の駅めぐみ白山(以下、道の駅)」の賑わい創出と同施設をゲートウェイとした白山手取川ジオパークへの誘客活動を実施してきた。

そうした折、2024年3月に北陸新幹線の白山総合車両所に隣接した体験型施設である「トレインパーク白山(以下、トレインパーク)」がオープンし、白山市では道の駅との一体的賑わい創出を目指すこととなり、新ゼミに連携取組みの働きかけがあった。そこで、新ゼミではこれまでの活動をバージョンアップする形で道の駅とトレインパークとの一体的賑わい創出活動に取り組むこととなった。

活動内容

①地元特産品の SDGs 商品としての情報発信活動

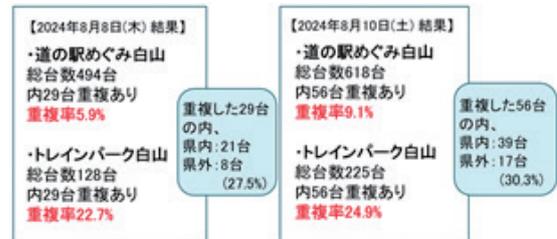
道の駅で販売している商品について、SDGs の観点からそれぞれの商品进行分析し、SDGs 商品として紹介する POP パネルを作成し、施設内に掲示した。



②来場者交通情報調査

道の駅とトレインパーク間で人の行き来がどれくらいあるのかを把握するため、2024年8月8日(木)と10日(土)に両施設の駐車場にてビデオカメラで

車のナンバーを撮影し、両施設とも訪れている車の台数やどこから来ているかについて分析した。その結果を下図に示す。



③トレインパーク白山来場者アンケート

本アンケートはトレインパークへの二次交通の充実に向けて現状を把握するため、2024年8月8日から9月30日の間受け付け、139件の回答を得た。

・トレインパークへの来場手段

「自家用車」が82.7%と8割以上を占め、次いで「電車+シャトルバスの利用」が7.9%であった。

・トレインパークへのアクセス

「便利又はやや便利」が74%と7割以上を占めた。

・道の駅白山に行ったか又は行く予定があるか

「行った又は行く予定である」が57%と過半を占めた。

②両施設の紹介動画作成

ドローンを使った空撮を盛り込んだ両施設の紹介動画を作成し、道の駅のディスプレイで流すとともに、インターネット上に公開。商品紹介 POP パネルにも QR コードを掲載。



道の駅のQR



トレインパークのQR

成果の情報発信

本活動は、2025年3月12日に行われた国土交通省主催の「道の駅×大学連携事例発表会」にて全国10大学の一つとして発表した。また、4月には白山市への報告会でも発表することとしている。